

自由われらの園 国府高校100周年

手書きの文字だからこそ伝えられる「思い」がある。今回の国府高校(豊川市)の卒業生インタビューは、保育士などを経てデザイン書道家として活躍する星野友梨子さん(38)に在校生へのメッセージなどを聞きました。

(聞き手・川合道子)

—高校時代の思い出は
私は商業科(現総合ビジネスク)だったので、情報処理や簿記、商業英検など資格取得に向けて勉強したことが思い出です。怠け者でしたが、試験日に向けて授業後に友達と教え合ったり、土曜日も学校に出てきてパソコンの練習をしました。先生も熱心に教えてくれました。

楽しかったのが書写検定の練習でした。私は六歳から中学三年まで書道を習っていました。古いものへの反抗もあって高校入学と同時に書道から離れていました。でも三年の授業で書道を選択することがきっかけで、「もっとうまくになりたい」と思うようになり、

卒業生インタビュー編②

デザイン書道家 星野 友梨子さん(38)



ほしの・ゆりこ 1982年生まれ、豊川市東上町出身。国内外の書道家やデザイン書道家などがデザイン性や創造性を競う2016年の「第18回日本デザイン書道大賞」で優秀賞を受賞。外国人観光客向け書道体験の講師も務める。

勇気を出し踏み出して

—なぜデザイン書道家を目指したのですか
高校卒業後は保育士だった母の影響で短大で学んだ保育士になりました。保育園で頼まれて子どもたちの卒園証書を書いていると周りに褒められ、人に使ってもらえる文字を書く仕事に興味を持ちました。

—一年に上京し、保育士として働きながらデザイン書道家の先生の下で学び、二年後に独立しました。
デザイン書道家の仕事は企業や店舗のロゴ、商品のパッケージの文字、テレビのタイトルなど商業用の文字を書くこと。そのお店や商品などに込められた「思い」をお客さんから聞き取り、ビジュアルとしての文字に表現しています。

—今後取り組みたいこと
仕事を通じて地域の役に立つことをしたいと思っています。東京を拠点に活動していますが、国府高の同級生から看板のデザインを頼まれたり、知り合いから豊川市産の農産物のロゴを作ってほしいと依頼をもらったりと、地元から仕事をいただく機会も増えてきました。昨年は豊川青年会議所の六十周年記念の催しで、豊川稲荷で書道パフォーマンスをしたことも。生まれ育った豊川に仕事で呼んでもらえることがうれしいです。

—在校生へのメッセージをお願いします
高校時代は、周りに意見や考え方などを合わせなければと思っていました。自分の長所ややりたいことが見つかったとき、勇気を出して踏み出したから今があるのかなと思います。一歩踏み出した行動を起したりすることは勇気がいることですが、小さくても大きくても自分なりの一歩を踏み出してほしい。未来が変わってくると思います。

—高校時代から「自分にかできない仕事をした」という思いがありました。東日本大震災が起きた二〇

—今後取り組みたいこと

—在校生へのメッセージ

—在校生へのメッセージ